

【記入例】

採用者給料査定書

太枠で囲んだところのみ記入する

| | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|------------------|---------------|--------|----------------|---------|------|
| 平成9年1月1日以降の臨時的任用時の職員番号 | ※ | ※ | →319367 | 和歌山 太郎 | 戸籍上の氏名を正確に記入する | | |
| | ※ | ※ | | | | | |
| 令和7年4月1日現在の満年齢 | 生年月日 (昭和)・平成57年 8月13日生 42歳 | | | | | | |
| 高等学校から記入、大学は専攻学科まで | 修学歴 | 学校名(学部・専攻学科) | 卒業・修了年月 | 修学年数 | 学校名(学部・専攻学科) | 卒業・修了年月 | 修学年数 |
| | | 〇〇高等学校 普通科 | H13年 3月 卒・修 | 3年 | | 年 月 卒・修 | 年 |
| 留年、浪人の期間も職歴欄(1行目)に入れる | 職歴 | 勤務場所(職務内容) | 期 間 | 勤続年数 | | | |
| | | 浪人 | H13年4月~H14年3月 | 1年 月 | | | |
| アルバイトか正式かを記入する | 歴 | 〇〇株式会社(正式) | 18年 4月~22年 3月 | 4年 | | | |
| 臨時的任用の場合は講師と記入する | | 〇〇小学校(講師) | 22年 4月~22年 7月 | 年 4月 | | | |
| 非常勤講師で同じ期間に2校以上勤務した場合 | | 在家庭 | 22年 8月~22年 8月 | 年 1月 | | | |
| | | 〇〇小学校(講師) | 22年 9月~23年 3月 | 年 7月 | | | |
| | | 〇〇高等学校(非常勤講師週2h) | 23年 4月~25年 3月 | 2年 月 | | | |
| | | 〇〇高等学校(非常勤講師週6h) | 年 月~ 年 月 | 年 月 | | | |
| 非常勤講師の場合は1週間あたりの授業時間数を記入する | | 〇〇高等学校(非常勤講師週8h) | 25年 4月~26年 3月 | 1年 月 | | | |
| | | 〇〇高等学校(初任研補充月1日) | 年 月~ 年 月 | 年 月 | | | |
| | | 〇〇中学校(講師) | 26年 4月~27年 3月 | 1年 月 | | | |
| 月1日の初任研補充も記入する | | 在家庭 | 27年 4月~28年 9月 | 1年 6月 | | | |
| | 〇〇中学校(講師) | 28年10月~R7年 3月 | 8年 6月 | | | | |
| | | 合 計 | | | 20年 月 | | |

正規の修学年数を記入する

- 職歴は、卒業から令和7年3月31日(令和7年4月以降作成の場合はその時点)まで、途切れることなく記入する。ただし、浪人は職歴として記入する。
- 月の途中まで在家庭でその後採用された場合、その月は採用の方に入れる。
- 月の途中で退職しその後在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。
- 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。
- 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し続きを記入する。その際、すべての用紙に記名のうえ、右上をステープラー止めする。